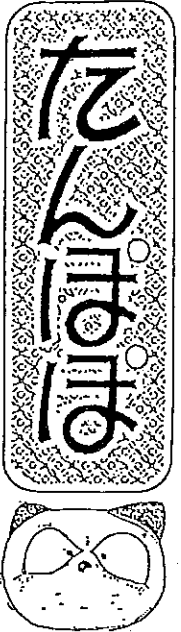


九州大会

理事長 田中 稔

6月16日、17日大分市において第9回自閉症親の会九州大会がありました。ブロック単位でこの様な会を続けているのは全国で九州だけです。会に参加し、思った事を記します。

『就労』について全国、九州の状況報告がありました。が、『就労』って何でしょうか？『就労』とは『働く』事でしょう。この様な集計には初めから施設入園生は入っていません。しかし、施設にいてる子は働いていませんか？奇声を出し、時々はカンシャクを起ししながらも真つ黒になって一輪車を押して働いています。収穫した野菜等は売って少しですが小遣いを得ています。



たんぽぽ

NO.37

H2.6.30.

—発行—

〒869-12

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

TEL096

293-8100

施設で何をやっているかと言え  
ば『働く事、出来る事を生活の中  
心にすえて生活のリズムを作る』  
という言葉になると思います。健  
常者の生活もまさにそうして過ぎ  
ています。何をして働いているか  
によって差があるだけです。入園  
生のパニックや問題行動はそうい  
う生活の妨げになりますから療育  
によって起こらない様、無くなる  
様にしていきます。除く事自体に  
振り回されたり、それが目的になっ  
てしまっただけはいけません。対処  
仕方多少しづつ分かってきました。  
自閉症という障害の根幹を変えて  
しまうというわけにはいきません  
が。

この様な場と体制があり、それ  
を必要としている子がいる所を自  
閉症施設と言っているだけで、何  
か特別なものが初めからあるわけ  
ではありません。『自閉症施設が  
必要か』という質疑への私の考え  
です。従って既存の施設や家庭に  
いて生活出来る人はそれで良いと  
言う事です。

他に『施設と保護者との関係』  
という質疑がありました。本年度  
で福岡、佐賀、鹿児島、大分に施  
設が出来ます。その大部分が土地、  
建物の建築時点で親達が資金を百  
万から四百万出費しています。そ  
れらの状況を踏まえて行政が間に  
入って『療育、運営に口を出さな  
い』という約定書を出している  
聞いています。しかし、自閉症者  
の療育には『人が要る』、『時間  
がかかる』、『お金も必要』です。従  
って、保護者の協力が絶対に必要  
です。両者の関係は日ごろの積み重  
ねが大切です。

各県とも会員の減少が共通の悩  
みです。大分の親の会は実働数三  
十名前後と聞いています。全員が  
協力して立派な大会をやり抜かれ

た事に敬意を表し、拍手を送りた  
いと思います。



## 療育シリーズ

園長も泣くぞ

園長 土井尚典

今から、2年前のまだ冬が明け  
切らないころ、2班の外出で吉無  
田高原に行きました。私が運転し  
て助手席に修ちゃんが座っていま  
した。カーブの多い道でした。行  
きの道中、助手席の修ちゃんの手  
がスーッと伸びて来たので「手を  
出さないで」と運転しながら言い  
ました。修ちゃんはラジオを点け  
たかったようでした。彼は「ハイ」  
と返事して静かにしていました。  
「修ちゃんーラジオ点けて良いで  
すかと聞いてから点けて下さい」  
という「ハイ」といって、「ラ  
ジオ点けて良いですか？」と尋ね  
たので「どうぞ」と言うラジオオ  
に手を延ばして点けました。しば  
らくすると、突然、「叱られちゃっ

た！」と言ってワーワー、泣き出  
しました。吉無田高原についてか  
らも泣き止まず、彼にとつてはさ  
んざんな一日でした。「叱ったの  
じゃないよ、断ってからラジオを  
点けるんだよ」と言っても無駄で  
した。担当もあの手この手でなだ  
めました。その日は1日泣いてい  
ました。

修ちゃんは、日ごろは大変まじ  
めで何をやらせても上手に出来ま  
したし熱心でした。今もそうです。  
実習生が来るとライブル意識を出  
して頑張りました。失敗したり間  
違うことが厭で一生懸命、何事に  
も頑張りました。しかし、失敗し  
たり間違えたことを指摘すると、  
プツンと緊張の糸が切れて大泣  
きました。時には自分の顔をげ  
んこつで、見ているもハラハラす  
るほど殴りました。それを止めよ  
うとすると、更にエスカレートし  
ました。よく観察していると人が  
いるところや、人が見ているとこ  
ろでやっていることに気が付きま

した。それからは担当は、本人が  
メソメソしているとき、仕事のと  
きは用件のみを、自由時間はしら  
んふりをしました。声をかけて欲  
しくて自分自身を殴るときは「自  
分で殴るのは大変でしょう。殴る  
の手伝ってあげようか」と声掛け  
をしました。すると「いいです」  
と言って、泣き止みました。

それから、1年が過ぎ、担当が  
変わった頃は1日中メソメソする  
ことはなくなっていました。失敗  
や間違いをしたとき、悲しくなる  
と私のところに来て、「僕はもう  
だめです。叱られました。」と言っ  
て泣きに来ることが多くなりました  
た。しばらく話を聞いてやり、落  
ち着くまでそこにいなさいとほっ  
て置くと「もう大丈夫です」と言っ  
て帰って行きました。私は「何故、  
私のところに来て、泣くのかな？」  
と疑問が湧いて来ました。ひよっ  
としたら「園長は1番偉い。決し  
て失敗や間違いをしないし泣かな  
い」と思っているのかもしれない

と思いました。今度泣いて来たなら試してみようと待ち構えました。

チャンスが訪れたとき「泣いていいんだよ。僕だって間違えたり叱られたりしたら泣くんだから思いつき泣きなさい」といって、一層泣かせてしまいました。結果は分からないけれど「もう大丈夫です」と言って帰って行きました。その後は来ないのでほんともかもしれない、と思いはじめています。

## 運動会



武藤悦子

5月26日(土)に県の総合運動公園で第10回熊本県愛護の体育大会がありました。今回3度目にして初めて全員参加を試みました。それに伴い1週間前から入場行進の練習を始めました。練習の時は、列からはみだす子、急に走り出す子、とてもきれいに並んで歩くなんて難しいのでは、と不安になり

ました。

さて、1週間という短い練習期間を経て当日を迎えました。朝からいいお天気に恵まれ、最高の体育大会日和。準備の為に先行っていた私は、到着予定時間頃になっても競技場に姿を見せないの、何か起こったのでは、誰かパニックを起こしているのではないかと心配になりました。やがてみんなが真新しいユニホームに身を包みますすがすがしい顔で現れた時は、ホッと、入場行進の待機場所へ行き並びました。ボランティアさんが沢山来て下さったので、一緒に入ってもらい、いざ入場。誰か走り出すかと思いきや、人が大勢いる所が苦手な人達が、真面目な顔で歩いているではありませんか。練習の成果か、緊張のせいが無事入場行進も終わり各競技に移りました。全ての園生が競技に参加し、メダルを取った子もいれば、残念ながら取れずに悔しがる園生もいましたが、みな各々ががんばり、楽し

い体育大会となりました。最後にボランティアに来て下さった熊短、尚綱、社会福祉専門学院の先生、学生さん方本当にありがとうございました。

## 運動会



田中満子

5月26日、運動公園で行われた県精神薄弱者体育大会を見学に行きました。タイミング良く、新調の黒ジャージ上下でさっそうと現れた我が三気の里の入場行進に間に合い、他所の園生にも決して劣らない予想以上の堂々たる姿に非常に驚きました。(失礼!)この行進を見ていたよそのお母さん、いわく「三気の里のお母さん方、若いんですね」と。ここだけの話ですが実はこの方々、ボランティアとして参加している若い若い学生さんたちなのです。アツ女子職員もいました。

(6頁へ)

## 2班 ハードボイルドなやつら

梅雨、梅雨、梅雨、なんとゆううつな響きなのだろう。そんな梅雨空にも負けず、2班の職員の声が響き渡る。「文ちゃ〜ん、浩ちゃ〜ん、俊ちゃ〜ん、英ちゃ〜ん、武ちゃ〜ん。」まるで嵐のような勢いで、それに応じるように勢い良く、廊下を走り回る彼ら。今日も、廊下汽車拭き隊、別名ハードグループが長い廊下を汗びっしょりになって拭きまわっている。ハードグループが結成されたころは、園生も職員も口もきけず、休憩ばかりだったが、最近10数回の往復に息もあがらず、平気になった。ぞうきんをしぼるのも得意、廊下が毎日きれいだなと内心喜んでいる私（坂井）である。ただ期待したほどやせていないのはなぜだろうね、清田さん。

今日も、いざ行けハードグループ、廊下はきれいだ！ 坂井

## 3班 只今休業中

作物には恵みの雨。我々外出の多い3班にとって動きのとりにくい季節となり、いささか困ったものでもあります。現在3班では、メインの木工は間伐材の製材などで只今休業中。もっぱら久木野村にある畑での作業と紙すきの下準備で牛乳パックの整理という室内作業のローテーションで行っています。畑は久木野村まで片道40分という道のりの為、梅雨の天気の影響されやすく、たまに顔出しすると草ぼうぼう、それでもめげずに耕し、ひまわりの種を植えました。その横では、去年収穫していた種がこぼれていたのでしょうか、自然発芽し、30cm位の高さになっているのを見ると実に辛いものがあります。思わず園にもって帰り移植しました。きれいに咲いてくれることでしょうか。今日も雨の中、室内作業に頑張っている我々ですが、やっぱり、日に焼け汚れた姿が似合います。\*

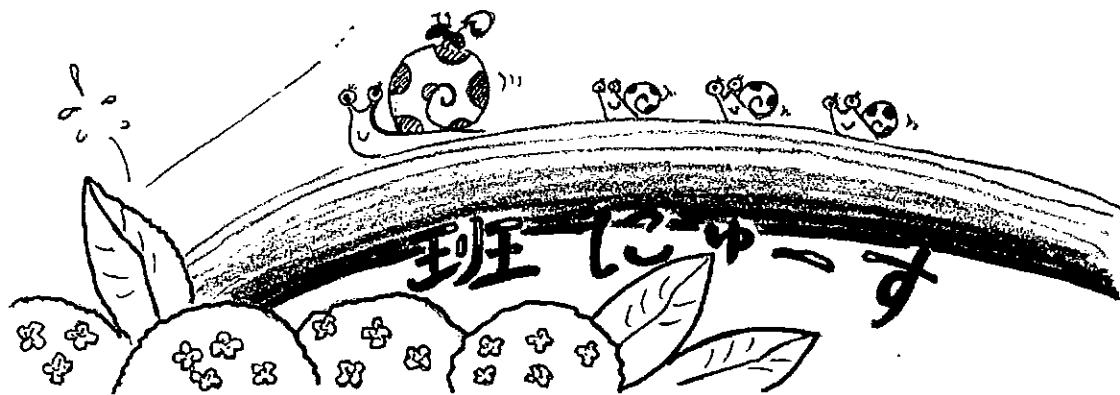
田之上

## 5班 梅雨と5班

3名で5班が新たに発足して早3カ月になります。5班の成り立ちは園内である程度自分達の身の回りの事が出来、又、今まで若い園生と一緒に作業を行ってましたが、やはり、スピードの面でもう少しゆっくり作業をとということでメンバーを組み施設内外の清掃と美化を兼ねて仕事を行う事になりました。さっそく梅雨前に園で必ず行わなければならない事が2つあります。第1に外回りの雨水の流れの確認。第2に高土手の草刈作業です。周囲の土手は高さ6m長さ約300mに及んでいます。10日ほどかかります。その作業の3日目当たりで草を落としていた松島さんが足場が悪くなりゴロゴロと転がり落ちて来ました。そして、立ち上がるなり例のスマイルで帽子を拾い頭にチョコンとかぶりニッコリと。

平均年齢50才若年寄も気を付けなくては！

砂野



### 1班 プレキャンプ

6月1、2日に来月の老岐のキャンプに備えてプレキャンプをみかん山に囲まれ、八代海が見渡せる三角の自然の里でしました。あいにくの雨でしたが、1班のみんなは元気に部屋の中を走り回ったり、ゲームをしたりと楽しみました。夕方になり、いよいよ夕食の準備。キャンプにはつきもののカレーライスを用意しました。ジャガ芋の皮をむく人、切る人。涙をポロポロ流しながら玉ねぎを刻むのりちゃん、ただちゃん。近くに居た、まこちゃんや職員までが貰い泣き、涙のスパイスのきいたカレーとなりました。みんなで作ったカレーの味は格別で何杯もお代わりして食べ、更に9時にはコーヒータイムでお菓子を食べて、よく食べた1日でした。みんなの胃袋の大きさに改めて感心しました。夜は、なかなか眠れない人もいましたが、無事1泊2日のキャンプを終わることができました。来月は、晴天を祈りたいものです。

場所を貸して下さった自然の里の先生方ありがとうございました。 武藤

### 4班 めぎせ宮崎キャンプ

毎日雨でじめじめした日が続きますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。(という書き出しで始めたものの、この原稿を書いている現在はカラ梅雨で晴天続き) 今回はみんなの様子と畑の作物の状況をお知らせします。このところの暑さに負けず頑張っているおかげで、先日もご父兄より「畑に草が1本もない」と褒めていただきました。ある週などは、月曜日に立てた1週間の作業計画を水曜日までにこなしてしまい職員一同目を丸くしてびっくりしたほどでした。いつでも一生懸命の修ちゃん、富田さん、富多三さん、由美ちゃん、草取り大好き?ののぶちゃん、種植えなら任せての博くん、敬ちゃん、典くん、草集めや草捨て得意の陽ちゃん、元気いっぱい宏幸くん、荒っぽいところもあるけどとうもろこしのわき芽かきもできる創くん、マイペースだけど体力十分のマーちゃん7月の宮崎キャンプ目指して頑張るぞー。

P.S このたんぼぼがお手元に届くころには、玉ねぎ、じゃが芋、とうもろこしの収穫が最盛期です。ぜひお買い求め下さい。 木下

各競技には指導員に引っ張られ参加する子、マイペースで参加する子と様々でしたが、お母さん方の熱い声援に、皆、精一杯頑張りました。入所以来三年経った今、一まわりも二まわりも大きくなっただ子供達の姿を見た思いがします。そして、私も又ひとつ、子供の喜ぶ姿を目の前にし行事への参加へ自信を持ち「見に来て良かった!」と思えるひとときを過ごしました。



### 食堂営業中

朝より“体育大会”といういで立ちで集う面々。黒のジャージがきまっています。いつもより早めの食事に大丈夫かなと思っていたのにもかかわらず、その日おかわりなし、という声にもめげず数人のおかわりコール。バスに乗り込む時は、その事はすっかり忘れ、少々ドライブ気分だったのでしようか。

久しぶりに厨房を抜け出して体育大会へと行く私達は、緊張しています。その緊張も昼食のお弁当開きのときがピークで“1、2、3数足りてる。落とさず持つて食べてネ。隅に置いているおやつとジュースは、まだダメ”などと心の中で思いながらのお弁当でした。無事に、帰りますの声にホッとしながらも横を見れば、ジュースの空き缶一つ。だれだ、早々と飲んだのは。ゴミは自分で持って帰るんだゾー。でもすばらしい一日でした。

帆保



### いすみ学園研修報告

木下 昭二

去る5月16日より高橋指導員と2人で、千葉県夷隅郡にある精神薄弱者更生施設「いすみ学園」に於いて3泊4日の施設見学実習を

させていただきました。三気の里と同じく自閉症者を中心とした施設で、園生42名(内自閉症者は約半数)で広々とした敷地の中で所狭しと動き回っておられました。

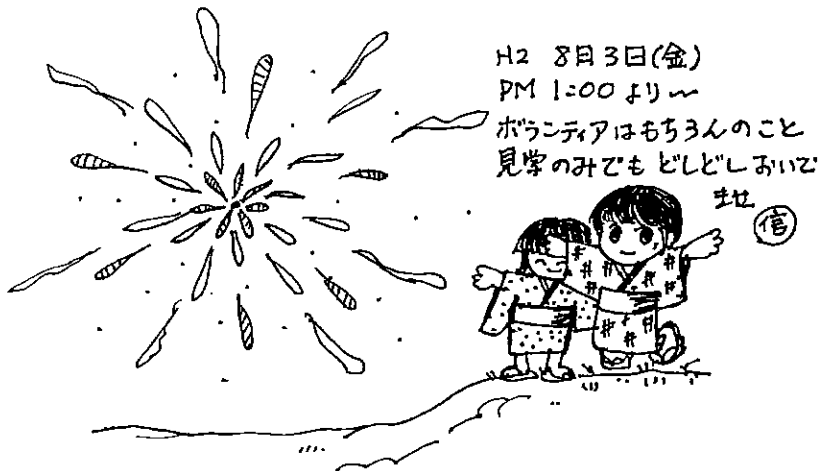
今回の実習で学ばせていただいた中の幾つかを紹介すると、作業訓練指導を重視した日課の設定をされていること(洗濯や清掃はパートの方がされている)、それに関連して昼食も厨房関係の職員の方が園生の作業場まで弁当を運ぶ態勢を取られていたり、外部機関への就労へ向けての職場実習への意欲的な取り組みをされていたり(7、8名が職場実習に行かれていた)等々、大変勉強になりました。ありがとうございます。

PS 7月には、いすみ学園から三気の里に実習に来られるので楽しみに待っています。



ぼらんていあ通信

暑い夏がちかづいてきました。三気の里では、8月3日(金)に「なつまつり」を行います。たくさんさんのボランティアさんをお待ちしております。  
坂本の



のびろ学園研修

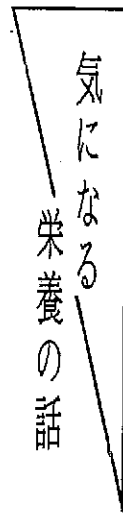
橋本加代子

四月十八日より三日間、千葉県にある自閉症者の施設のびろ学園にて、事務長、坂本信子指導員と共に研修させていただきました。

研修した中でまずびっくりしたのが、土地の広大さ、また設備がすごく整っているということでした。作業で、パン工房、機械織り、陶芸、カンパニーと4つに別れているのですが、どれも機械や用具がそろっていて羨ましく思いました。特に機械織りに関しては、三気の里の女の子にさせてみたいなあと思えました。また、作業に取り組む姿勢では、園生一人一人が毎朝自分で作業を選んで、自分のペースで作業に取り組むということで、「作業中はがんばってやる」という三気の里の考え方との違いを感じました。

今回の研修を通して、園生の幸せを願う時に、その考えとして、いろいろな方法、また方針がある

んだなあということをし、園長先生はじめ、先生方のお話を伺う中で改めて考えさせられました。



昔、ヨーロッパでは、薬品として用いられていた砂糖。最近では、とり過ぎによつての虫歯、肥満の増加に至っています。砂糖はうま味があり、多くの飲食物の味を良くするので、食べる楽しみと、精神的な安らぎを与えます。しかし、おいしいが故についとり過ぎてしまうのが難点です。一応の目安量として、成人で1日50g(大さじ5)。意外にたくさんとれません。それでは、とり過ぎを防ぐにはどうと。肉や魚などの蛋白質食品、油脂類が不足すると甘いものが欲しくなるため、栄養のバランスのとれた食事をする事。料理はできるだけ砂糖を控える。そのために

### 7月の行事予定

1(日)	11(水)	22(日)
2(月)	12(木)誕生会	23(月)
3(火)	13(金)2班ワ	24(火)
4(水)	14(土)帰宅日 職員会議 父兄会	25(水)
5(木)1班キャンプ 七夕祭り	15(日)	26(木)
6(金)↓	16(月)防災訓練	27(金)大掃除
7(土)↓ シーツ交換	17(火)	28(土)
8(日)	18(水)5班ワ	29(日)
9(月)	19(木)4班キャンプ(~21日)	30(月)
10(火)	20(金)3班キャンプ(~21日)	31(火)
21(土)シャツ交換 VO学習会(2班) ※14(土)草刈作業		

は滅塩に心がける。また、イライラする生活は、甘いものが欲しくなります。気分転換をはかり、ストレス解消に努める事です。なげない日常生活。今一度見直してみてはいかがでしょう。 帆保

後援協会入会  
後援会会員紹介  
ありがとうございます

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 山内久己子 | 一門恵子  | 勇 健三  |
| 坂口寛治  | 平川義利  | 平川ミサ子 |
| 平川とみ子 | 加藤レイ子 | 橋村一徳  |
| 橋村洋一  | 松本三千昭 | 東島龍二郎 |
| 隅本 亨  | 財賀砺至  | 樺嶋尚志  |
| 阪口峻一  | 今福 斉  | 向井隆一郎 |
| 金子豊重  | 服部陵子  | 安武美紀  |
| 村上ます子 | 佐藤静子  | 稲葉千代子 |
| 才畑敏晴  | 山口祐視子 | 末友祥正  |
| 小島英俊  | 荒牧俊雄  | 吉永脩二  |
| 四宮朝子  | 中野怜子  | 中島英親  |
| 赤坂政紀  | 塚本謙二  | 上村才司  |
| 国本純雄  | 兼坂一子  | 江島謙一  |
| 岡崎範子  | 岡崎武治  | 岡崎照代  |
| 興呂木弘隆 | 佐藤 洋  | 渡辺正司  |

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 吉良美智夫 | 山室ミル  | 山室篤信  |
| 加藤勤子  | 木山程荘  | 池永ユキエ |
| 林田純子  | 原田由美子 | 坂口耕一  |
| 尾崎元昭  | 北島照明  | 城門千代  |
| 島添耕治  | 山口 浩  | 田尻宗誠  |
| 渡辺淑子  | 吉田俊人  | 門岡蓉子  |
| 竹中広敏  | 山室誠弥  | 三池真奈美 |
| 亀井修悦  | 石井暁子  |       |

やろう会7月の日程

六月十五日付け  
※敬称略

- 5(木)林・魚谷・井口  
12(木)上田・森川  
14(土)石崎・前田・岡崎・坂本  
19(木)高木・桜木・元田  
26(木)国本・松村  
いつも、お手伝い御苦勞様です。

編集後記

本当に梅雨?と言いたくなるほど雨が降りませんね。畑の作物も職員もみんな萎えているようです。それに比べてみんなは相変わらず元気、元気で羨ましい限りです。私の方が若いはずなのに...

美加